

ただし、医師の証明が必要な場合もあります。

※この認定は、介護保険の要介護認定とは判断基準が異なりますので、要介護認定の状況によって、一律に障害者控除に該当するものではありません。詳細については問い合わせてください。

問い合わせ
糸島市介護保険課
☎(3323)1111

年末年始の図書館
休館のお知らせ

12月28日(水)～平成24年1月4日(水)は休館します。移動図書館車や学習室も利用できませんのでご注意ください。

平成24年1月5日(木)10時から開館します。※休館中に本を返却するときは、図書館玄関横のブックポスト(返却ポスト)へ入れてください。

●延滞本はありませんか

返却期限が過ぎた図書館の本が家にありませんか。他の利用者が返却を待っている場合もあります。延滞本は速やかに返却をお願いします。

問い合わせ

糸島市図書館
☎(321)1432
糸島市図書館二丈館
☎(332)2118
糸島市図書館志摩館
☎(332)2119

ぶらり糸島

FM福岡で、糸島市の特集番組放送中!!

FM福岡で、糸島市の特集番組『ぶらり糸島』を放送しています。糸島市をたくさんの人たちに知っていただくために、市の魅力をたっぷり紹介する番組です。

古代から栄えてきた糸島の歴史をはじめ、特産品やイベント、糸島市の行政など糸島の現在を伝えていきます。

新しい情報を次々に発信していきますので、ぜひ聴いてみてください。



パーソナリティーの
はぎまたかあき
波佐間 崇晃さん
(糸島市在住)

番組タイトル▶「ぶらり糸島」
放送日時▶毎週日曜日
9時30分～9時55分
放送期間▶平成24年3月25日(日)まで

問い合わせ
糸島市
秘書広報課
☎(332)2111



@buraritoshima

地域に心を寄せて

人権・同和教育広報委員 吉丸 泰生

これまでの歴史上、経験したことのない急速な「少子高齢社会」の到来は、わが国社会の根本的な仕組みや国民生活に大きな影響を与え、さまざまに深刻な課題を突きつけています。

全国各地で報道される「孤

独死・核家族化の進行による「二人世帯」の増加・幼児や高齢者虐待・過疎化の波による「限界集落」の出現・買い物難民等々の課題に、私たちはどう考えよう向き合っているのでしょうか。豊かな生活を「物と金だ」とはき違えた戦後の暮らし方が、人間関係を希薄にし、地域の絆を弱めてしまったのでしょうか。それとも、高度経済成長下の利益優先主義を、今日まで引きずり対策を先送りしてきた政治、ある

こころコラム

いは、無関心であった私たち市民の責任なのでしょうか。

今こそ、自分と周りの人々との関わりと暮らしについて、心を寄せ合ってできることを考え、行動を起こしていきたいと思います。

私の住む前原南

校区の高齢化率は、20・3%、10年後は27%となり、超高齢社会を迎えようとしています。校区運営委員会は、「共創プランINみなみ」審議委員会から提出された答申書を検討して7つのプランを策定しました。その一つが、「陽だまり(居場所)運動」と呼ばれるものです。



陽だまり(居場所)運動の様子

「住みやすい・住んでよかった」と思える地域をめざした運動が、行政区ごとに進められています。

「協働のまちづくり」や「自主防災組織」設立などの取り組みは、一人ひとりの命や暮らしを守る「人権のまちづくり」そのものです。

無縁社会を一つ一つ切り崩し、無理のない自分のできる小さなことを周りの方と進めていくことは、少子高齢社会の課題解決につながる重要な取り組みだと思っています。

糸島市の交通事故・火災発生状況(10月中)

交通事故		火災発生	
件数	53件	件数	1件
死者	1人	建物	1件
傷者	82人	その他	0件
		救急車出動	324件

編集後記

今回の特集で取り上げた「いとしま共創プラン」。どのようにみなさんに読んでもらい、理解していただくか。企画の段階から試行錯誤を繰り返し、賛否両論は承知の上で、一つの事業を密着取材することに決めました。

繰り返し足を運んで取材を続けているうちに、私なりに感じたまちづくりの意味。それは「隣近所との付き合い」でした。言葉にすれば、簡単で、当たり前のことに感じるかもしれませんが、今の私たちの生活から薄れてきている部分でもあります。お互いの顔を知り、信頼し合うことで校区の一体感が増し、災害時などに大きな力を発揮するのだと思います。(友岡)

糸島市の人口(10月末現在)

校区名	人口(人)	男性(人)	女性(人)	世帯数(世帯)
波多江	12,236	5,853	6,383	4,775
東風	7,948	3,953	3,995	3,048
前原	10,854	5,070	5,784	4,238
前原南	8,788	4,093	4,695	3,519
南風	8,723	4,181	4,542	2,898
加布里	7,549	3,579	3,970	2,880
長糸	2,170	1,023	1,147	765
雷山	3,848	1,869	1,979	1,388
怡土	7,464	3,646	3,818	2,748
一貴山	3,620	1,702	1,918	1,283
深江	5,399	2,499	2,900	2,030
福吉	4,178	1,953	2,225	1,493
可也	9,022	4,314	4,708	3,168
桜野	2,741	1,306	1,435	923
引津	5,657	2,650	3,007	2,077
合計	100,197	47,691	52,506	37,233
先月比	-7	1	-8	33

がんばろう日本!
"糸島から元気を"

このたびの震災で、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災 被災地復興支援報告 6

松本嶺男市長が
宮城県被災地を視察しました

3月11日の東日本大震災を機に、自治体における「危機管理」は最重要課題となりました。私も、10月中旬、宮城県の被災地を視察しました。市民の生命と財産のすべてが流され、かつての田園風景は地盤沈下でまるで海の様相。復興にはかなりの期間と労力を要すると思われ、できる限りの支援を継続するつもりです。

さて、被災地を目の当たりにして強く感じたこと。それはわれわれは「逃げる」ことしかできないということ。災害時、市も万全を期しますが、市からの勧告や指示に頼らず、まずは自分の身は自分で守ってほしい。そして、隣近所や自主防災組織など、地域内で助け合ってほしいと考えています。糸島市では現在、地震・津波・原発事故を想定した地域防災計画の見直しを進めています。この視察で感じたことを生かし、より現実性のある防災計画を策定して参ります。



市民のみなさんには、自主防災組織設立の推進にご理解いただき、日ごろの備えを十分にしていただくようお願いいたします。

松本嶺男